

# ヘルシーおおさか21

てんじこうほう  
点字広報

だい ごう  
第53号

か かんせんしょう よほうたいさく  
「蚊やダニによる感染症と予防対策」

## 1 はじめに

蚊やダニなどを媒介して起こる感染症には、非常に多くの種類があります。世界的には、蚊が媒介する「ジカウイルス感染症（ジカ熱）」や「デング熱」、「マラリア」などの流行が大きな問題となっています。

2012年の秋には、これまでわが国では知られていなかった「マダニ」を媒介したウイルス感染症である、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）という疾患が報告されました。

また、2014年に日本国内で蚊に刺されたことにより、デング熱を発症した事例がほぼ70年ぶりに報告されました。

これから暖かくなり、行楽シーズンとなる中で、蚊に刺されたり、ダニに咬まれたりすることでうつる感染症への知識を持ち、予防に役立てましょう。

## 2 蚊やダニが媒介する感染症の主な種類と症状について

蚊が媒介する感染症

### ①デング熱

デング熱は、デングウイルスにより引き起こされる急性の熱性感染症です。主に熱帯・亜熱帯地域に生息する「ネッタイシマカ」、温帯地域に生息する「ヒトスジシマカ」により媒介され、ヒトから蚊、蚊

からヒトへの感染サイクルを形成しています。

熱帯・亜熱帯地域では、各地で流行が続いており、WHO（世界保健

機関）では、毎年5000万～1億人が感染していると推計しています。

東南アジアなどの流行地域を訪れて、感染する日本人も増加傾向

にあり、大阪府でも毎年このような輸入感染症例が発生しています。

## ○ 症状

2～14日（平均3～7日）の潜伏期間を経て、約20～50%に Dengue 熱

の症状が出現します。 Dengue 熱は、突然の高熱で発症し、頭痛、

目の奥の痛み、結膜充血、顔面紅潮、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感

を伴い、発熱は2～7日程度続きます。発症3～4日後、発疹が出現

し胸部・体幹から四肢・顔面へと広がります。症状は7～10日程度

で消失し、後遺症なく回復します。一部の患者においては、 Dengue

出血熱に移行し、発熱2～7日後に上記の症状に加えて出血傾向

やショック症状が出現することがあります。

## ② ジカウイルス感染症

ジカウイルス感染症は、感染した蚊に刺されることによって感染

する、蚊媒介感染症の一つです。ジカウイルスに感染した患者を蚊

が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を

吸血することで、ウイルスに感染させます。通常、ヒトからヒト

ちよくせつかんせん  
へ直接感染することはありませんが、ゆけつ せいこうい かんせん  
輸血や性行為により感染する  
ことがあります。

## しょうじょう ○ 症状

せんぶくきかん か ご けいど はつねつ ずつう かんせつつう きんにく  
潜伏期間は2～13日で、その後、軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉  
つう ほっしん けつまくえん ひろうかん けんたいかん とくべつ ちりょうほう  
痛、発疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などがあらわれます。特別な治療法  
はありません。いっばんてき ねつ けいしょう しょうじょう おう  
一般的にデング熱より軽症といわれ、症状に  
たいしょうりょうほう おこな よ ご ひかくてきりょうこう かんせんしょう  
対症療法が行われ、予後は比較的良好な感染症です。

かんせんしょう しんけいしょうじょう しょう  
しかし、ジカウイルス感染症は、神経症状（ギラン・バレー症  
こうぐんなど げんいん ばあい  
候群等）の原因となる場合があります。

にんしんちゅう かんせん たいじ しょうとうしょうなど  
また、妊娠中にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症等の  
せんてんせいしょう きた せんてんせい かんせんしょう  
先天性障がいをもたらすことがあります（先天性ジカウイルス感染症）。

## ③ マラリア

ひと げんちゅう も か さ かんせん  
マラリアは、人がマラリア原虫を持った蚊に刺されることで感染  
びょうき ねったいねつ みっかねつ よっかねつ らんけい  
する病気で、熱帯熱マラリア、三日熱マラリア、四日熱マラリア、卵形  
しゆるい せかいじゅう ねったい あねったいちいき りゅうこう  
マラリアの4種類があります。世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行し  
にほん ねんかん にんちか ゆにゅうかんせん はっしょう  
ており、日本でも年間50人近くが輸入感染で発症しています。

## しょうじょう ○ 症状

せんぶくきかん しゅうかん はつねつ さむけ ずつう おうと かんせつつう きんにく  
潜伏期間は1～4週間で、発熱、寒気、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉  
つう しょうじょう で ねったいねつ はっしょう じかんいない  
痛などの症状が出ます。熱帯熱マラリアは発症から24時間以内に

ちりょう　じゅうしやうか　し　いた　のうしやう　じんしやう　はい  
治療しないと重症化し、しばしば死に至ります。脳症、腎症、肺

すいしゆ　しゆつけつけいこう　じゅうしやうひんけつ　さまざま　がっぺいしやう  
水腫、出血傾向、重症貧血など、様々な合併症がみられます。

## ダニが媒介する感染症

### ①SFTS（重症熱性血小板減少症候群）

SFTSは、ウイルスを保有している「マダニ」に咬まれることによ  
り、感染すると考えられています。国内では、西日本を中心に年間  
60名程度の患者が報告されています。国内でのマダニのウイルス保  
有調査や、動物を対象としたウイルスに対する抗体調査から、SFTS  
ウイルスは全国的に広く存在しているものと思われております。こ  
れまでのところ、大阪府でSFTS患者発生の報告はありませんが、  
SFTSウイルスを保有するマダニが身近に生息している可能性は否定  
できません。

### ○症状

はつびやう　こうねつ　おうと　げり　しやうじやう　あらわ　けっしやうばん  
発病すると高熱、嘔吐、下痢などの症状が現れ、血小板や  
はっけつきゆう　げんしやう　じゅうしやうか　しぼう　へいせい  
白血球が減少し、重症化すると死亡することがあります。（平成27  
ねん　きゆうしゆう　しこく　ちゆうごく　ほくりくちほう　めい　しぼうれい　かくにん  
年九州・四国・中国・北陸地方で11名の死亡例が確認されて  
います。）

### ②日本紅斑熱

ねん　とくしまけん　はじ　はっけん　かんせんしやう　ご　かんとう  
1984年、徳島県において初めて発見された感染症で、その後、関東

から九州にかけて広く分布することが明らかにされてきました。

大阪府でも平成28年に数例発生しています。

## ○ 症状

潜伏期間は2～8日、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症することが多く、また、発疹、刺し口がほとんどの症例にみられます。

### 3 蚊やマダニの生息地について

デングウイルス、ジカウイルスを媒介する蚊は、主に熱帯・亜熱帯地域に生息する「ネッタイシマカ」、温帯地域に生息する「ヒトスジシマカ」など「ヤブカ属の蚊」です。「ネッタイシマカ」は、国内には定着していませんが、「ヒトスジシマカ」は、秋田県・岩手県より南の地域に定着しています。

マダニは、もっぱら野山に生息していますが、草の葉先などについて野生動物などがやってくるのを待ち構えていて、野生動物などが通りかかると素早く取りつきます。そこをたまたま通りかかった私たちも例外ではありません。

### 4 予防と対策について

普段から周囲の蚊の発生源になりそうな、小さな水たまりや植木鉢の皿に溜まった雨水を無くすなどをして、身の回りの蚊を減らすよう心掛けましょう。

とくに蚊媒介感染症の流行地への渡航時や、国内発生時などは、

蚊に刺されないよう次のような注意が必要です。

・長袖、長ズボン、靴を着用し、虫よけスプレーや蚊取り線香などを使用しましょう。

・とくに妊婦及び妊娠の可能性のある方は、ジカウイルス感染症流行地への渡航・滞在を可能な限り控えることとされています。

・帰国後は、症状の有無に関わらず、国内でのウイルス拡散防止のため、少なくとも2週間程度は蚊に刺されないよう予防することが重要です。

次に、マダニに咬まれないようにするには、次のような注意が必要です。

・野山へ出かけるときは、できるだけ長袖・長ズボンを着用しましょう。

・虫よけスプレーを携行し、適宜使用しましょう。

・しっかりした靴（できれば長靴等）を履いて、肌の露出を避けましょう。

・白っぽい色の服装の方がマダニを発見しやすいという利点があります。

・帰宅後必ず入浴し、マダニのようなものがついていないかよく

てんけん  
点検しましょう。

## 5 対処方法について

### ○蚊関係

しょうじょう で ばあい いりょうきかん じゅしん かんせん ちいき  
症状が出た場合は医療機関を受診し、感染リスクのある地域に  
い し もう で  
行ったことを医師に申し出てください。

ゆけつ かんせん ふせ かんせん ちいき  
また、輸血による感染を防ぐために、感染リスクのある地域から  
かえ しゅうかんでいど けんけつ ひか  
帰ってきて4週間程度は献血を控えてください。

### ○マダニ

おお ちょうじかん ち す かいじょう  
マダニの多くは長時間にわたり血を吸います。(10日以上になるこ  
ともあります) もし、マダニが皮膚についていたら自分でとらずに、  
かなら ひ ふ かなど いりょうきかん じゅしん むり ひ ば  
必ず皮膚科等の医療機関を受診しましょう。無理に引っ張ると、マ  
ダニの口が残ってしまい、皮膚の化膿を起こしたり、長くかゆみが続  
くち のこ ひ ふ かのう お なが つづ  
いたりします。

か すうじつご ずつう はつねつ ほっしん しょうじょう で  
マダニに咬まれて数日後に、頭痛、発熱、発疹などの症状が出た  
ばあい いりょうきかん じゅしん い し か そうだん  
場合は、医療機関を受診し、医師にマダニに咬まれたことを相談し  
ましょう。

はい きんぐとう やがいかつどう さんりん くさち た い しゅうかん  
また、ハイキング等の野外活動や山林、草地に立ち入って1週間く  
ねつ で しょうじょう で ばあい ねん いりょう  
らいしてから、熱が出るなどの症状が出た場合にも、念のため医療  
きかん じゅしん  
機関を受診しましょう。

さんこう いんようぶんけん  
<参考・引用文献>

こうせいろうどうしょう  
1) 厚生労働省ホームページ

かんせんしょうじょうほう ねつ けいはつ  
感染症情報「ジカ熱」啓発リーフレット

こうせいろうどうしょうけんえきしょ  
2) 厚生労働省検疫所ホームページ FORTH「マラリア」

こくりつかんせんしょうけんきゅうしょ にほんこうはんねつ  
3) IDWR国立感染症研究所ホームページ 「日本紅斑熱とは」

おおさかふ  
4) 大阪府ホームページ

けんこういりょうぶ いりょうたいさくか かんせんしょう おおさかふかんせんしょうたいさく  
健康医療部 医療対策課 感染症グループ「大阪府感染症対策  
じょうほう  
情報」

おおさかふるいっこうしゅうえいせいけんきゅうしょ  
5) 大阪府立公衆衛生研究所ホームページ

ぼん だい ごう だい ごう だい ごう  
・メールマガジン かわら版 第95号・第155号・第157号

おおさかふかんせんしょうじょうほう  
・大阪府感染症情報センター

「ヘルシーおおさか21」は、いかがでしたか。

いけん かんそう こんごきぼう かき  
ご意見、ご感想、今後希望されるテーマなどを下記

たんとうか し  
担当課までお知らせください。

こんごてんじこうほうし ゆうそう きぼう  
また、今後点字広報誌の郵送をご希望されない

ばあい おな かき れんらく  
場合も、同じく下記あてにご連絡ください。



大阪府

けんこういりょうぶけんこういりょうそうむか ほけんじょ  
健康医療部健康医療総務課 保健所グループ

へいせい ねん がつ はっこう  
平成29年2月発行

おおさかしちゅうおうくおおてまえ ちようめ  
〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目

でんわ  
電話：06-6944-3288      F A X：06-6944-6263

こうほう けいさい  
この広報は、ホームページにも掲載しています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikansen/tenjikoho/index.html>